

『くるみ割り人形』

ハイライト

出演者プロフィール
Profile

北九州楽友協会祝祭バレエ団



振付・演出・バレエ アンドレイ・オルロフ Andrei Orlov

ロシア・イジェフスク出身。ロシア国立ウドムルト芸術大学を首席で卒業し、教育振付家としてロシア国家芸術学士号を取得。ロシア国立チャイコフスキ記念ウドムルトオペラバレエ劇場、バレエカンパニー“Moscow city ballet”にて数々の舞台に立ち、Dance Company “アンサンブル・イジェフスク”にてバレエマスター、振付家として活動。2012年に日本に拠点を移し、谷桃子バレエ団に入団。CID UNESCO TOKYOに出演。2012年以降、RBS-studio、東京高等バレエ学校、他のバレエスタジオ等で舞台振付、パ・ド・ドゥクラス、キャラクターダンス等の指導を行う。演技法を学ぶための“スタニスラフスキーシステムワークショップ in TOKYO”を主催。2013年より民族舞踊の振付家としてNHK、東海テレビ、朝日テレビなど数多くのメディアに出演。DA PUMPなど多数の芸能人に振付・指導。CM多数出演。2016年シアターXにてロシア民族音楽舞踊アンサンブルGARMOSHKA冬のコンサート～ロシアの宝箱～をプロデュース。2018年10月ワガノワ・バレエ・アカデミー主催の会議にてロシアバレエ教授法のカリキュラムについての論文を発表。同月にロシア国立ワガノワ・バレエ・アカデミー日本公式パートナー一般社団法人日本ワガノワバレエ協会を設立し代表理事に就任。以降、サマースクール、正規留学オーディション、バレエ教師再教育プログラム、正規留学ビデオオーディション等を開催。2019年12月IMPRESSARIO合同会社を設立し、バレエ留学生のオーディションサポートや留学現地サポート等を行う。



バレエ 和田優奈

3歳よりバレエを始める。2006年より Canada's Royal Winnipeg Ballet School へ留学。クラシックバレエ、キャラクターダンス、モダンバレエ、ジャズ等を学ぶ。帰国後K BALLET COMPANYにApprenticeとして所属。“白鳥の湖”“眠れる森の美女”等の公演に出演。退団後、バレエクレアシオン、ボルテ・アベニール、東京小牧バレエ団公演、武蔵野シティバレエ、JDIプレミアムダンスガラ、BALLET COLLECTION 等の舞台に出演。



ヴァイオリン 江里口奏子

ウィーン市に生まれる。国立音楽大学器楽学科ヴァイオリン専攻卒業。第18回福岡県高等学校音楽コンクール弦楽器部門金賞受賞。第23回全九州同コンクール弦楽器部門銀賞受賞。第15回日墳文化協会フレッシュコンサートにて管弦打楽器部門優秀賞受賞。第7回長江杯国際音楽コンクール弦楽器部門第3位。第9回JILA音楽コンクール弦楽器部門入選。これまでにヴァイオリンを田代直子、故松村英夫、大関博明、B・ビペラウア、故U・ダンホーファーの各氏に師事する。世界的ピアニストでウィーン国立音楽大学教授である、アドリアン・コックス氏とブームスのヴァイオリンソナタを共演。江里口奏子ヴァイオリンリサイタルなど、ソロヴァイオリニストとして国内外で活躍する。近年では2017年モスクワのチャイコフスキーホールにて、ロシア国立交響楽団との合同オーケストラメンバとして参加し好評を博す。更に韓国統営での演奏会に出演するなど、国際的にも活動の場を広げる。



ヴァイオラ 星 光

3歳よりバイオリンをはじめ久保田良作、久保良治、掛谷洋三、三戸康夫、ビオラを兎東俊之、河合訓子、百武由紀、恵谷真紀子、室内楽を斎田雅治、浦川宜也の各氏に師事。武蔵野音大附属高校、東京音楽大学卒業。奨学金を得て東京音楽大学大学院入学、修士課程修了。在学中に留学生特別奨学生を得てザルツブルクモーツアルデウムサマーアカデミー参加。市川新人演奏会、江戸川新人演奏会優秀賞受賞、日本クラシック音楽コンクール一般の部全国大会で審査員特別賞受賞。オーケストラ・トリプティック所属。

東京パラリンピック2020においてオーケストラ・トリプティックで参加した音源が選手宣誓で使用された。2017年にはジャパンフェスティバルオーケストラの副首席として日本人初のサウジアラビア公演を大成功させる。映画『マエストロ！』、『蜜蜂と遠雷』、大河ドラマ『いだてん』、ドラマ『G線上のあなたと私』等に出演。

北九州楽友協会祝祭室内楽団

司会・朗読 岩崎佳子

北九州市出身。国立音楽大学教育音楽学科1類専攻卒業。国立音楽大学同調会北九州支部新人演奏会、北九州新人演奏会、北九州美術館コンサート、音の杜の愉快な仲間たち等に出演。2015年声楽ジョイントコンサート「薰風」を開催。宮崎由紀子ピアノソリスト、島田亜希子マリンバコンサート、創作オペラ「マノンとマスネ」、CONCERT響「カルメン」等に朗読で出演。近年より演劇の企画・開催・出演も行う。豊岡短期大学講師、慶成高等学校非常勤講師。

ピアノ 矢野恵子

国立音楽大学器楽学科ピアノ科卒業、ウィーン国立音楽大学ピアノ演奏科留学、室内楽ディプロマ取得。

北九州バドロニーニ優勝、奨学金授与。ウィーンムジークフェラインにてウィーン国立音楽教授アドリアン・コックスとデュオ、北九州市美術館、下関市美術館、西日本工業倶楽部招聘ソロリサイタル。仙台ラジオ3出演、同番組コンサート出演。新宿区、立川市主催「佐藤恵子とスマラクインテット」リサイタル、近年では埼玉、横浜にてベートーヴェン4、5番室内楽編ピアノ協奏曲を数年連続開催。西南女学院短期大学非常勤講師助手を経て現在鎌倉市在住。鎌倉音楽サロン主催。藤原千鶴子、故菅野洋子、故三宅洋一郎、ミヒヤエルクリスト、故ソニヤパフォー、高橋倫紀の各氏に師事。

ヴァイオリン 栗井まだか

国立音楽大学附属中学校、音楽高等学校を経て、国立音楽大学音楽学部器楽学科を卒業。

これまでにヴァイオリンを石橋洋子、漆原啓子の各氏に師事。室内楽を徳永二男、堀正文、廣瀬宣行の各氏に、草津国際音楽アカデミーにおいてパノハ弦楽四重奏團に師事。第7、8回日本クラシック音楽コンクール全国大会入選。『高嶋ちさ子12人のヴァイオリニスト』初代メンバーとして、全国各地での演奏会、TVやラジオなどに多数出演。日本コロムビアよりアルバムをリリース。現在はフリー奏者として、オーケストラ、レコーディング、ライブサポート、映画撮影の演奏指導など幅広く活動中。

チェロ 竹本聖子

福岡県出身。東京音楽大学卒業、同大学院修士課程修了。日本人作曲家の作品の発掘、演奏、録音を行う「オーケストラ・トリプティック」、現代音楽に江戸文化を交えた、新しい表現活動を行うクリエイショングループ「淡座」メンバー。室内楽での活動を中心にラジオドラマや映画音楽、ショーでのライブ演奏、国内外の作曲家の新曲の初演など、音楽、人の出会いを楽しみながら様々な演奏活動を行っている。